

特別支援教育に関する実態・意識調査（特別支援教育コーディネーター用）

市町村名		学校名	
------	--	-----	--

このアンケート調査を通して、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導及び支援をさらに充実させるための効果的な支援体制を探りたいと考えています。結果については統計的処理により、量的分析を行いますので、学校や市町村が特定されることはありません。ご協力、よろしくお願いいたします。なお、回答は別紙のマークシートにご記入いただき、マークシートのみをご提出ください。

I 特別支援教育コーディネーターについて

特別支援教育コーディネーター（以下コーディネーターとする）に関して、以下の質問にお答えください。

- 問1 どのような立場（校務分掌）でコーディネーターをされていますか。
 1 教頭（副校長） 2 教務主任 3 特別支援学級担任 4 通常の学級担任 5 学年主任
 6 教育相談担当 7 養護教諭 8 生徒指導主任 9 通級指導教室担当教員
- 問2 コーディネーターを何年間担当していますか。
 1 1年間（今年度から） 2 2年間 3 3年間 4 4年以上
- 問3 コーディネーターとして、あなたが果たしている役割はどのようなことですか。次の中からすべてお選びください。
 1 校内委員会の企画・運営 2 児童生徒の実態把握 3 担任への支援
 4 保護者に対する相談窓口 5 校内研修の企画・運営 6 個別の指導計画の作成
 7 個別の教育支援計画の策定 8 関係機関との連絡・調整

コーディネーターに関する以下の質問について、貴校において当てはまると思うものを右の1～4の中から1つずつお選びください。

	当てはまる	当てはまる どちらかといえば	当てはまらない どちらかといえば	当てはまらない
問4 コーディネーターの役割は、校内で周知されており、協力が得られている。	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
問5 コーディネーターの役割は、保護者に周知されている。	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
問6 コーディネーターの役割を果たしやすくするために、他の校務の負担が軽減されている。	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
問7 コーディネーターとしての力量を高めるために、研修を受けることができている。	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
問8 他校のコーディネーターとの情報交換等ができている。	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
問9 コーディネーターの役割を果たすために、専門機関から必要な助言を得る機会がある。	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____

II 児童生徒の実態把握について

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の実態把握に関する以下の質問について、貴校において当てはまると思うものを右の1～4の中から1つずつお選びください。

	当てはまる	どちらかといえば	当てはまらない	どちらかといえば	当てはまらない
問10 客観的な把握のために、スクリーニングテスト（チェックリストやPRS、LDI等）を活用している。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	
問11 詳細に実態把握を行うために、個別知能検査または発達検査等の心理検査を活用している。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	
問12 実態把握のために、巡回相談や専門機関からの助言を得ている。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	
問13 保護者と連携して、家庭での児童生徒の実態を把握している。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	

III 個別の指導計画について

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の個別の指導計画の作成について、以下の質問にお答えください。

- 問14 個別の指導計画を作成していますか。
 1 作成している 2 作成していない 3 対象となる児童生徒がいないので作成していない

* 問14で「1 作成している」と答えた学校のみ、問15～問19にお答えください。

- 問15 個別の指導計画作成には、担任以外で誰が関係していますか。すべてお選びください。
 1 教頭（副校長） 2 教務主任 3 特別支援学級担任 4 特別支援教育コーディネーター
 5 学年主任 6 教育相談担当 7 養護教諭 8 生徒指導主任
 9 通級指導教室担当教員 10 保護者 11 外部の専門機関

個別の指導計画に関する以下の質問について、貴校において当てはまると思うものを右の1～4の中から1つずつお選びください。

	している	どちらかといえば	していない	どちらかといえば	していない
問16 児童生徒の実態を把握したうえで指導目標を設定している。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	
問17 指導目標は客観的に評価できるものを設定している。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	
問18 指導内容や方法は個別と集団の2つの場面に分けて整理して示している。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	
問19 個別の指導計画の内容は必要に応じて修正し、実際の指導に生かしている。・・・	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____	

IV 通常の学級での支援について

通常の学級における支援に関する以下の質問について、貴校において当てはまると思うことを右の1～4の中から1つずつお選びください。

	しつじる	しつじる どちらかといえば	しつじない どちらかといえば	しつじない
問20 教室の環境を整え、児童生徒が落ち着いて授業を受けられるようにしている。	1	2	3	4
問21 授業では、学習活動にメリハリをつけ、児童生徒の注意を引き付けるようにしている。	1	2	3	4
問22 通常の学級において、一人ひとりの違いを理解し、お互いを認め合える学級経営の工夫をしている。	1	2	3	4
問23 少人数の授業（ペアやグループ学習等）を行い、児童生徒同士が教え合える場面を設けている。	1	2	3	4
問24 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の理解を促すために、教材・教具等を工夫している。	1	2	3	4
問25 授業の中で、ワークシート等を活用し、特別な教育的支援が必要な児童生徒も学習しやすいようにしている。	1	2	3	4
問26 特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、学級の約束事を守れたり、望ましい行動をとれたりしたときは、すぐにほめるようにしている。	1	2	3	4
問27 特別な教育的支援を必要とする児童生徒が失敗したとき、叱責せず、うまくいく方法を具体的に教えている。	1	2	3	4
問28 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の問題行動への対処の仕方などを予め決めておき、教職員が一貫した態度で接している。	1	2	3	4
問29 特別な教育的支援を必要とする児童生徒の指導記録等をつけ、より適切な指導や支援の工夫に生かしている。	1	2	3	4

V 特別支援教育の現状

特別支援教育の現状に関する以下の質問について、貴校において当てはまると思うものを右の1～4の中から1つずつお選びください。

	当 て は ま る	当 て は ま ら ず か と い え ば	当 て は ま ら ず か と い え ば	当 て は ま ら ず
問30 特別支援教育を推進しようという教職員の意識は高まっている。	1	2	3	4
問31 特別支援教育について、保護者の理解は進んでいる。	1	2	3	4
問32 学校で行っている支援は、児童生徒の特別な教育的ニーズに十分応えられている。	1	2	3	4
問33 特別支援教育を進めるための校内支援体制は十分機能している。	1	2	3	4
問34 特別支援教育コーディネーターはその役割を十分果たしている。	1	2	3	4

VI 特別支援教育の課題

特別支援教育の課題に関する以下の質問について、貴校において当てはまると思うものを右の1～4の中から1つずつお選びください。

	そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば	ど ち ら か と い え ば	そ う 思 わ な い
問35 特別支援教育を優先課題としたいが、学校には多様な課題があり、思うように進めない。	1	2	3	4
問36 特別支援教育を進めるには、推進体制の整備（例えば支援員の増員等）が一層必要である。	1	2	3	4
問37 通常の学級において特別支援教育を進めるには、個に応じた教育を目指した学級経営や授業の見直しが必要である。	1	2	3	4
問38 特別支援教育を進めるには、教職員の意識改革が最も重要である。	1	2	3	4
問39 特別支援教育を進めるには、特別支援教育コーディネーターの役割が最も重要である。	1	2	3	4
問40 特別支援教育を進めるには、校長のリーダーシップが最も重要である。	1	2	3	4

ご協力ありがとうございました。